




論文審査結果の要旨

論文提出者	内山貴誠		
論文審査委員	主査	大星博明	
	副査	稲井哲一朗	
	副査	敦賀英知	
論文題目	Altered dynamics in the renal lymphatic circulation of type1 and type2 diabetic mice		
(論文審査結果の要旨)			
<p>申請者は本論文で、ストレプトゾトシン (STZ) 投与による 1 型糖尿病モデルマウスと高脂肪食負荷による KKT/Ta 2 型糖尿病モデルマウスの 2 種類の糖尿病動物モデルを作製し、腎臓におけるリンパ管のサイズや数、局在の変化を観察している。どちらの糖尿病モデルでも血管の数や面積は対照動物と有意な変化は認められなかった。しかしながら、腎臓内リンパ管の数や管腔面積が特に腎髄質で増加しており、STZ マウスでは管径が中くらいのサイズ (50-100 μm) のリンパ管が、高脂肪食を食餌された KK/Ta マウスでは小さいサイズ (<50 μm) のリンパ管が多かった。本研究は糖尿病性腎臓障害の病理学的メカニズムを究明する上で、独創的かつ新規性に富み、今後の発展が期待される成果と考えられた。公開予備審査会ならびにその後の質疑で、研究の背景と手法および結果の意義について、適切な回答が得られ、博士 (歯学) の学位審査論文として価値あるものと判断した。</p>			